2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月16日

上場会社名　　あい ホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　3076　　ＵＲＬ　https://www.aiholdings.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役会長　　（氏名）佐々木　秀吉
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）山本　裕之　　ＴＥＬ　03-3249-6335

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	20,876	3.0	3,280	60.9	3,417	49.9	3,462	△15.7
2026年６月期第１四半期	20,270	80.6	2,039	14.7	2,279	90.2	4,109	△58.1

（注）包括利益　2027年６月期第１四半期 2,784百万円　（△40.9%）　2026年６月期第１四半期 4,710百万円　（△43.6%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	64.95	－
2026年６月期第１四半期	77.13	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年６月期第１四半期	142,088	117,102	82.2	2,195.59
2026年６月期	145,674	117,904	80.8	2,208.46

（参考）自己資本　　2027年６月期第１四半期　　116,830百万円　　2026年６月期　　117,651百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	－	55.00	－	70.00	125.00
2027年６月期	－				
2027年６月期（予想）		70.00	－	70.00	140.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	1.1	11,000	2.2	11,700	△6.7	9,000	△24.6	168.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	56,590,410株	2026年６月期	56,590,410株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	3,255,167株	2026年６月期	3,317,479株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	53,312,915株	2026年６月期１Ｑ	53,273,707株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しなどを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢の緊張に伴う原油価格等の上昇による物価上昇の継続が個人消費に与える影響や海外経済の動向など、先行き不透明な状況が続いております。このような経済環境のもと、当社グループにおいては資本コストを意識し、環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

この結果、当第１四半期連結会計期間の売上高は208億７千6百万円（前年同期比3.0%増）となり、営業利益は32億８千万円（前年同期比60.9%増）、経常利益は34億１千７百万円（前年同期比49.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億６千２百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

当第１四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しており、以下の前期比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。事業のセグメント別の業績は次のとおりであります。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けの新規案件獲得や自社更新が安定的に推移し、また一般法人向けにおいても好調に案件を獲得したことにより、売上高は40億１千８百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は15億６千万円（前年同期比7.5%減）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他の事務用機器につきましては、カード機器の主要販売先である病院の設備投資は回復傾向にあるものの、その他事務用機器の鉄骨CAD事業では主力機種切り替え期により、売上高は５億７百万円（前年同期比9.9%減）、セグメント利益は６百万円（前年同期比90.7%減）となりました。

③ 情報機器

情報機器につきましては、業務用カッティングマシンは米国および欧州の販売が好調、個人向けカッティングマシンは底這いから復調し、売上高は36億７千９百万円（前年同期比21.6%増）、セグメント利益は７億８千３百万円（前年同期はセグメント損失３千８百万円）となりました。

④ 計測機器

計測機器につきましては、ＥＶ市場は停滞しているものの、パワーエレクトロニクス関連でデータセンター向けの受注が好調であり、半導体からインフラ関連等幅広い市場からの引き合いにより堅調であることから、売上高は11億５百万円（前年同期比22.5%増）、セグメント利益は２億３百万円（前年同期比212.3%増）となりました。

⑤ 情報通信

情報通信につきましては、コスト削減効果と利益率の高い商品の販売により、売上高は63億２千３百万円（前年同期比9.0%減）、セグメント利益は３億３千１百万円（前年同期比100.3%増）となりました。

⑥ 設計事業

設計事業につきましては、官公庁向けで建て替えの大型案件の獲得や、構造設計を中心に大幅増益となり、売上高は14億６千９百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント利益は２億３百万円（前年同期比94.0%増）と好調に推移しました。

⑦ その他

その他につきましては、売上高は37億７千２百万円（前年同期比11.2%増）、セグメント利益は１億４千１百万円（前年同期比316.0%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて35億８千５百万円減少し、1,420億８千８百万円となりました。主な要因は流動資産における現金及び預金16億６千１百万円減少、固定資産における建物及び構築物（純額）７億５千2百万円減少、土地31億６千４百万円減少、関係会社株式13億８千９百万円増加等であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて27億８千３百万円減少し249億８千６百万円となりました。主な要因は、流動負債における支払手形及び買掛金６億２千万円減少、未払法人税等６億９千７百万円減少、固定負債における退職給付に係る負債６億３百万円減少等であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて８億２百万円減少し1,171億２百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益34億６千2百万円の計上、配当金37億２千９百万円の計上、その他有価証券評価差額金３億８千９百万円減少等であります。この結果、自己資本比率は82.2%となり、前連結会計年度末の80.8%より増加となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年８月19日付の「『2026年６月期決算短信〔日本基準〕（連結）』にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,825	53,163
受取手形、売掛金及び契約資産	16,092	16,134
リース投資資産	252	228
商品及び製品	11,051	10,600
仕掛品	1,919	2,371
原材料及び貯蔵品	4,784	5,026
その他	2,031	2,269
貸倒引当金	△22	△23
流動資産合計	90,935	89,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,016	3,263
土地	21,868	18,703
その他（純額）	3,411	3,178
有形固定資産合計	29,295	25,146
無形固定資産		
のれん	1,548	1,532
その他	2,490	2,539
無形固定資産合計	4,038	4,071
投資その他の資産		
投資有価証券	5,997	5,286
関係会社株式	7,527	8,917
退職給付に係る資産	3,658	3,684
その他	4,342	5,332
貸倒引当金	△121	△121
投資その他の資産合計	21,403	23,100
固定資産合計	54,738	52,318
資産合計	145,674	142,088

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,157	5,536
リース債務	305	278
未払法人税等	3,308	2,610
賞与引当金	557	1,381
製品保証引当金	130	122
受注損失引当金	51	47
有償支給取引に係る負債	138	111
その他	7,099	6,289
流動負債合計	17,748	16,378
固定負債		
リース債務	488	450
退職給付に係る負債	3,761	3,158
その他	5,771	4,998
固定負債合計	10,021	8,607
負債合計	27,769	24,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	19,723	19,868
利益剰余金	88,188	87,887
自己株式	△1,678	△1,646
株主資本合計	111,233	111,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,169	779
為替換算調整勘定	4,141	3,873
退職給付に係る調整累計額	1,107	1,067
その他の包括利益累計額合計	6,418	5,721
非支配株主持分	253	271
純資産合計	117,904	117,102
負債純資産合計	145,674	142,088

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
売上高	20,270	20,876
売上原価	12,347	11,822
売上総利益	7,923	9,054
販売費及び一般管理費		
役員報酬	166	154
給料及び手当	1,837	1,849
賞与	1	4
賞与引当金繰入額	527	583
退職給付費用	103	69
その他	3,246	3,113
販売費及び一般管理費合計	5,883	5,773
営業利益	2,039	3,280
営業外収益		
受取利息	38	103
受取配当金	7	1
持分法による投資利益	7	119
為替差益	158	－
その他	59	40
営業外収益合計	271	265
営業外費用		
支払利息	2	4
為替差損	－	69
その他	28	54
営業外費用合計	31	128
経常利益	2,279	3,417
特別利益		
投資有価証券売却益	19	968
固定資産売却益	3,810	650
その他	3	－
特別利益合計	3,832	1,619
特別損失		
固定資産除却損	1	－
棚卸資産除却損	65	－
その他	8	－
特別損失合計	74	－
税金等調整前四半期純利益	6,037	5,036
法人税、住民税及び事業税	2,401	2,530
法人税等調整額	△482	△975
法人税等合計	1,919	1,554
四半期純利益	4,118	3,481
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,109	3,462

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	4,118	3,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	262	△469
為替換算調整勘定	292	△309
退職給付に係る調整額	117	△39
持分法適用会社に対する持分相当額	△80	121
その他の包括利益合計	592	△696
四半期包括利益	4,710	2,784
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,701	2,765
非支配株主に係る四半期包括利益	9	18

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	630百万円	590百万円
のれんの償却額	29百万円	30百万円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	セキュリティ機器	カード機器及びその他事務用機器	情報機器	計測機器	情報通信	設計事業	計			
売上高										
外部顧客への売上高	3,958	563	3,026	902	6,951	1,474	16,876	3,394	―	20,270
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	1	0	―	―	0	22	99	△121	―
計	3,977	565	3,026	902	6,951	1,475	16,898	3,494	△121	20,270
セグメント利益又は損失（△）	1,686	69	△38	65	165	105	2,053	34	△48	2,039

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、節電・省エネシステムの開発・製造・販売、カードリーダー・自動おしぼり製造機の製造・販売、ソフトウェアの開発・販売、セキュリティ機器・カード機器等の保守サービス、リース及び割賦事業、コールセンター事業、印刷システム事業、不動産事業、電子部品の販売等を行っております。

２．セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去△24百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益214百万円並びに全社費用△238百万円が含まれております。全社収益は、主に各グループ会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	セキュリティ機器	カード機器及びその他事務用機器	情報機器	計測機器	情報通信	設計事業	計			
売上高										
外部顧客への売上高	4,018	507	3,679	1,105	6,323	1,469	17,103	3,772	―	20,876
セグメント間の内部売上高又は振替高	47	13	0	―	33	―	95	78	△173	―
計	4,066	520	3,679	1,105	6,357	1,469	17,199	3,851	△173	20,876
セグメント利益	1,560	6	783	203	331	203	3,089	141	49	3,280

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、節電・省エネシステムの開発・製造・販売、カードリーダー・自動おしぼり製造機の製造・販売、ソフトウェアの開発・販売、セキュリティ機器・カード機器等の保守サービス、リース及び割賦事業、コールセンター事業、印刷システム事業、不動産事業、電子部品の販売等を行っております。

２．セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去60百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益220百万円並びに全社費用△230百万円が含まれております。全社収益は、主に各グループ会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの区分変更

当第１四半期連結会計期間より、一部の連結子会社の組織変更に伴いセグメント業績をより適切に反映させるため、「計測機器」に含まれていた電子部品については、「その他」に区分を変更しております。

これに伴い、前第１四半期連結会計期間のセグメント情報についても、変更後の区分に組み替えた数値を記載しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。